



自分たちでまちの安全・安心を高める

## 「まちづくり協議会」について知る。

### 活動紹介① 防犯・見守り活動

まちづくり協議会では、  
地域の安全・安心を守るために  
さまざまな活動を行っています。  
知っている活動はありますか。

近所を歩いていると、まちづくり協議会の帽子やベストを着た方や、青色回転灯をつけた車が、安全を呼びかけながら走っているのを見かけたことはありませんか。

地域の方たちが、青パトでパトロールや、学校の登下校時間にあわせたあいさつ・声かけなど、防犯活動や子どもたちの見守り活動を行っています。

まちづくり協議会ができる前から、PTAや町内会など、さまざまな団体がこのような活動を行ってきましたが、まちづくり協議会ができたことにより、地域で話し合っ分担しながら実施するようになりました。そして、地域のどこが危ないのか、どうしたら犯罪が減るかなど協議して対策を立て、まちの安全・安心を守ってくれています。

あなたも、安全・安心なまちにしたいために簡単なことから「まちづくり」を始めてみませんか。

まずは、すれ違う人とあいさつをする。あいさつをすることも「まちづくり」のひとつです。犯罪者は、声をかけられるのを嫌がります。あいさつされたら、自分の顔を覚えられたかもしれないと思うからです。

また、あいさつにより、地域の人たちと顔見知りになることができます。そうやって、周りの人たちとつながることで安心感が生まれてきます。

パトロールや見守りの活動をしている人たちに会ったら、ぜひあいさつ



問合せ先 総務総合政策グループ ☎ 52-1111 (内線 365・339)